

2011.11月

品質月報

Monthly Quality Report

発行部署 : サンシン電気(株)・品質保証部

11月号 INDEX

11月号 INDEX

PAGE 3 ……品質方針

PAGE 4 ……今月のトピックス

★ 今月のテーマは…
「スパコン「京」世界一…1秒に1京回計算」

PAGE 5 ……今月の品質状況
市場不良率推移

PAGE 6 ……品質状況詳細

市場不良発生状況(工程別、客先別)

PAGE 7 ……品質状況詳細

クレーム発生状況(クレーム発生推移、客先別)



SANSHIN GROUP



品質方針

サンシングループは、商社・開発技術・要素技術 これら3つの機能のシナジー効果と品質マネジメントシステムの効率的な運用により、お客様のニーズを満たす製品開発と安定的な製品供給をおこない、電機業界および社会へ貢献して参ります。

1. 事業活動において、いかなる場合も品質マネジメントシステムを厳守し、お客様に信頼される品質の提供につとめて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遂行を通し品質の向上につとめて参ります。
3. 各々のグループ会社および事業部において、事業活動に応じた品質マネジメントシステムの継続的な改善につとめて参ります。
4. 品質マネジメントシステムは、定期的な内部監査・マネジメントレビューをおこない、実態に沿った具体的な改善をはかって参ります。
5. この方針は文書化し、当グループのステークホルダーに対して開示をおこない、当グループの諸活動に関わるすべての人々によって一步一步、着実に具現化して参ります。

平成18年7月1日
サンシングループ
代表 石井宏宗

石井宏宗



今月のトピックス

スパコン「京」世界一…1秒に1京回計算

理化学研究所と筑波大などは18日、共同開発した世界最速のスーパーコンピューター「京(けい)」が、計算機を使った優れた応用技術に与えられる米国計算機学会の「ゴードン・ベル賞」を受賞したと発表した。

同賞はスパコン分野でもっとも権威がある。

受賞は、実効計算部門の最高性能賞で、国内グループの受賞は、04年の海洋研究開発機構のスパコン「地球シミュレータ」を使った研究以来7年ぶり。

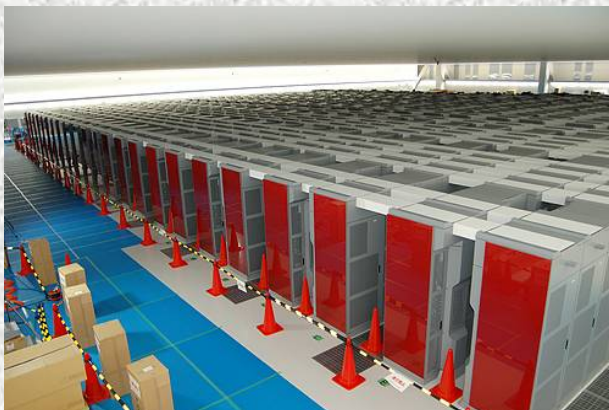
京は毎秒1京回(京は1兆の1万倍)以上の計算能力がある。研究グループは今回、京を使って半導体材料の性能の指標となる電子の通りやすさを調べるプログラムを開発。これまでになく高精度のシミュレーションができることを証明した。

「京」は他にも、これまで性能が足りずにできなかった、局部的豪雨や巨大地震・津波など複雑な過程を経て起きる自然現象などのシミュレーションに応用できると期待される。

(11月18日 毎日新聞)

「京」は、政府が日本の科学技術力を支える「国家基幹技術」と位置付けて開発を主導。2009年、行政刷新会議の事業仕分けでは、蓮舫参院議員から「世界一でないといけないのか。2位では駄目なのか」と指摘されたことでも話題になりました。

理化学研究所の年収1717万円の天下り役員の問題や、消費電力が大きいなどの問題もあり、16日の「国会版事業仕分け」では、性能面は評価されたものの、運営経費の高さが批判されているようです。



確かに問題は抱えているようですが、とにかく一番になったと言う点は評価に値すると思います。

富士通は、来春からネットワーク経由で中小製造業にスーパーコンピュータを貸し出し、部品の耐久性実証に必要な高度な解析業務を手助けする「ものづくりクラウド事業」に乗り出すそうです。

中小企業にとって解析データ作成の費用と手間が大幅に減ると言うことですので、ひょっとして我々にも全く無関係ではないかも知れないと感じています。

(品証 林)

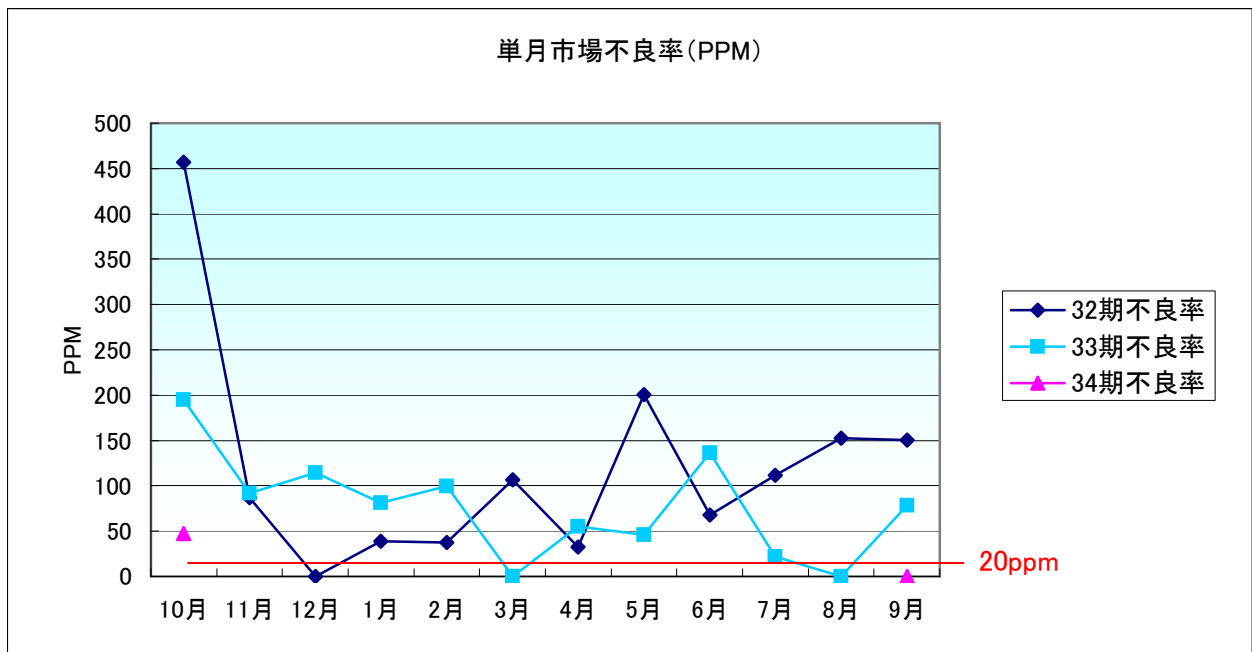
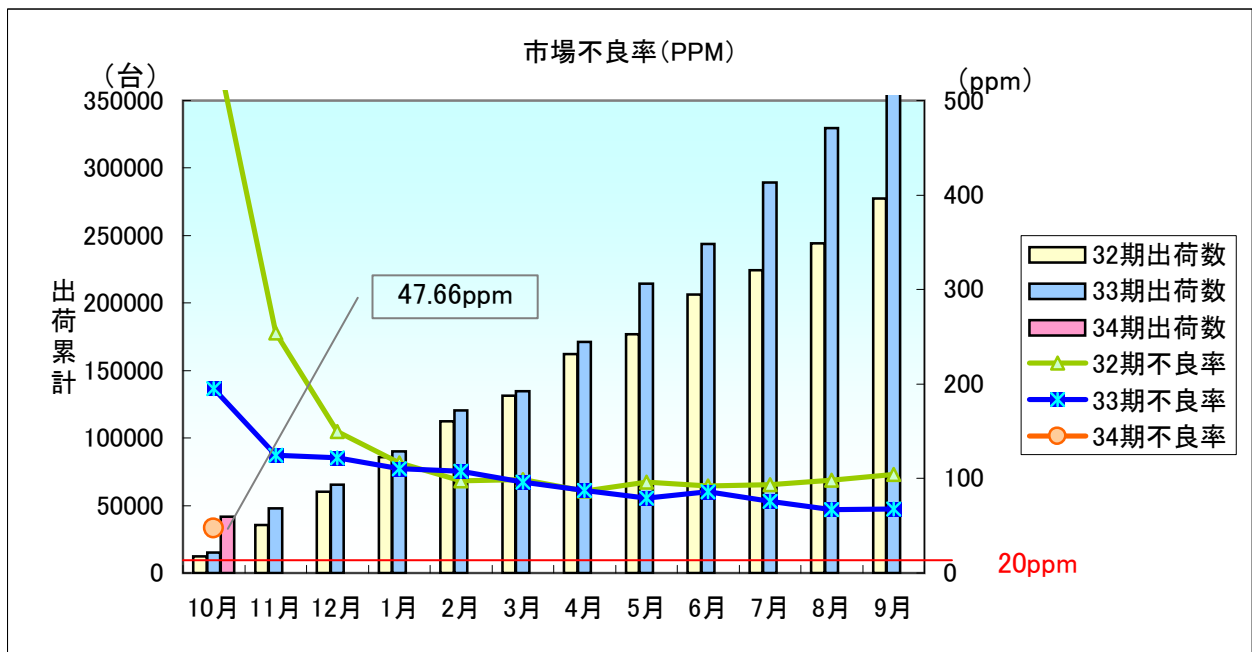
今月の品質状況

34期の旗印

納入不良率 目標……20ppm

34期が始まりました。
10月までの累計不良率は**47.66ppm**です。過去2年間より良いスタートです。
目標は高く設定すべきということで、34期の目標値は**20ppm**となっています。

目標値までなかなか届かないまでも、每期確実に不良率は減少し続けております。
このペースで目標値に近づいて行けるよう、引き続きご協力をお願いいたします。

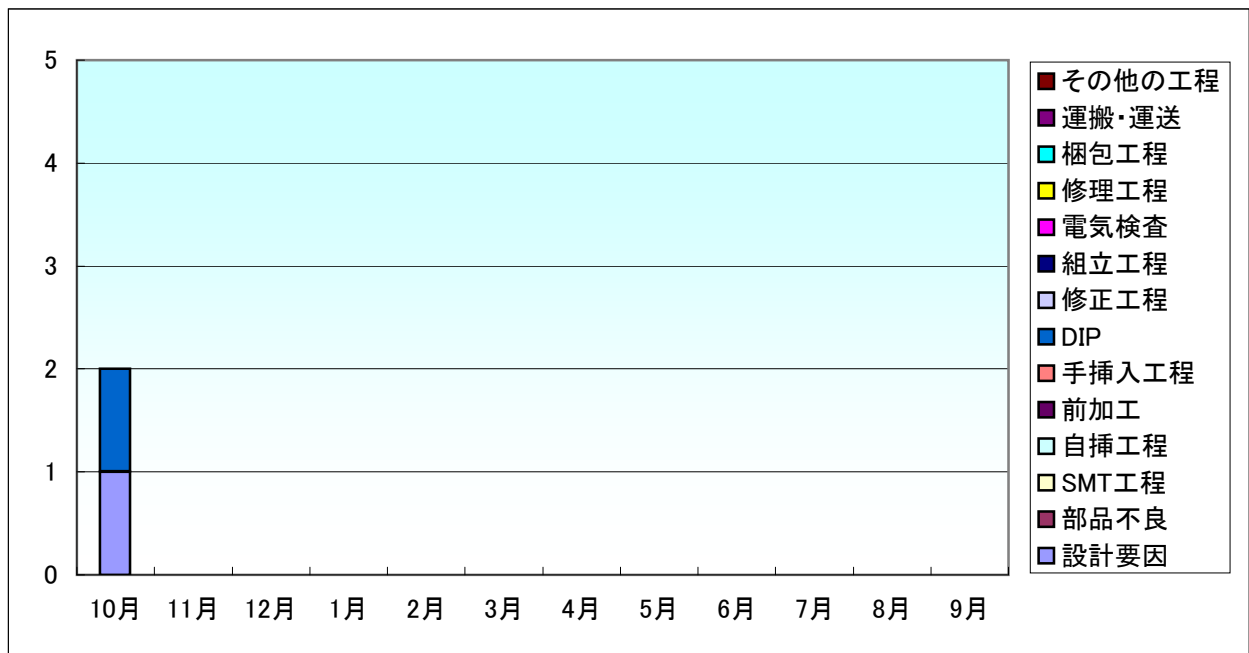


10月は市場不良2件です。
以前の不具合対策による2次不良と、部品不良がカウントされております。
2次不良は実に惜しい不良、部品不良は偶発的なものと考えております。

品質状況詳細

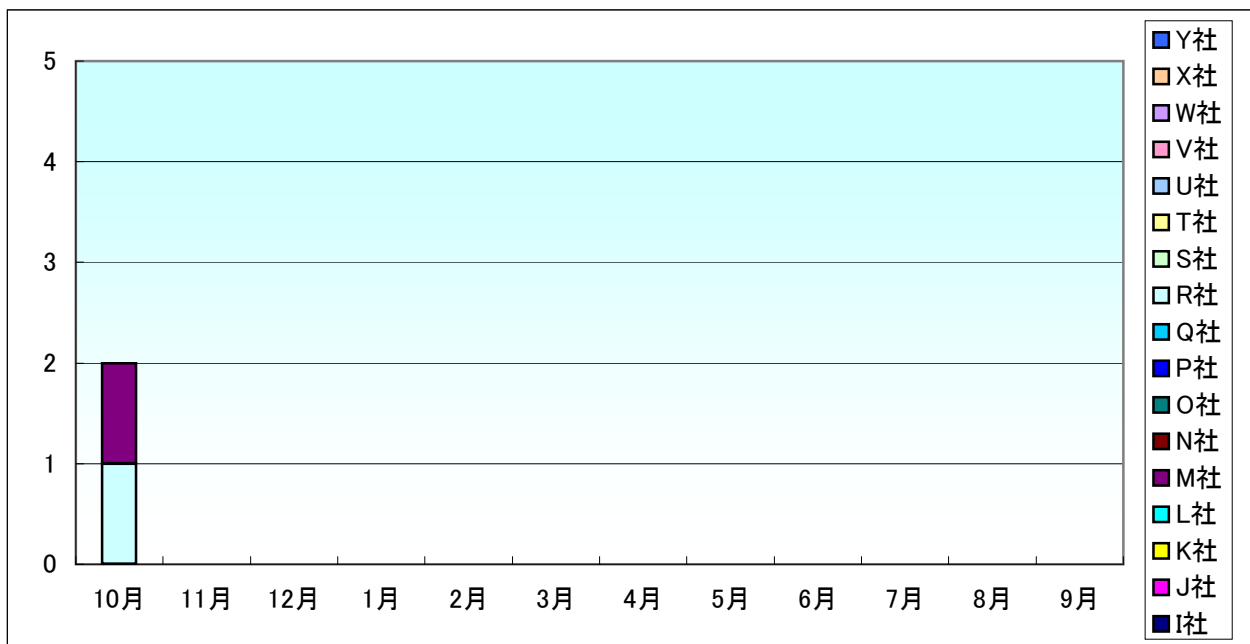
原因別、並びに工程別市場不良発生状況

工程別不具合



分析しやすいように工程項目の見直しを行いました。(その他の工程が少なくなるように)
 10月の不良は2件。
 2件の不良は部品不良、DIP不良各1件の発生です。

客先別不具合



客先別累計不良発生率

M社 1件/200台 (5000ppm)
 D社 1件/3,484台 (287ppm)

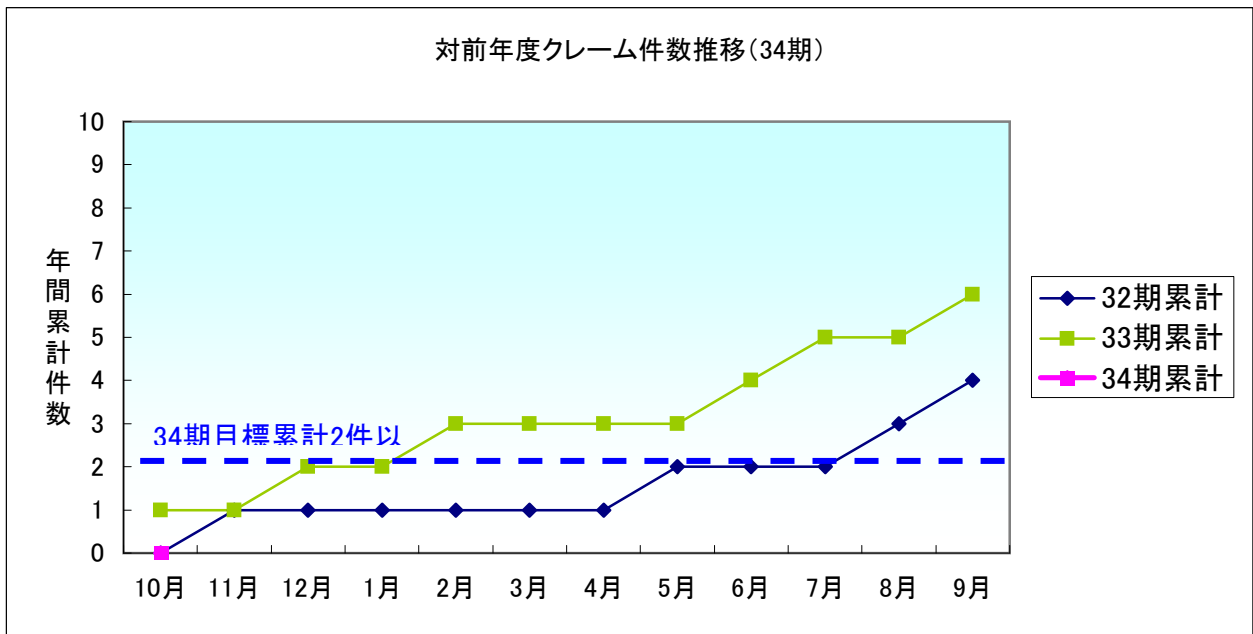
左が10月発生不良2件の客先別内訳です。

品質状況詳細

クレーム発生状況

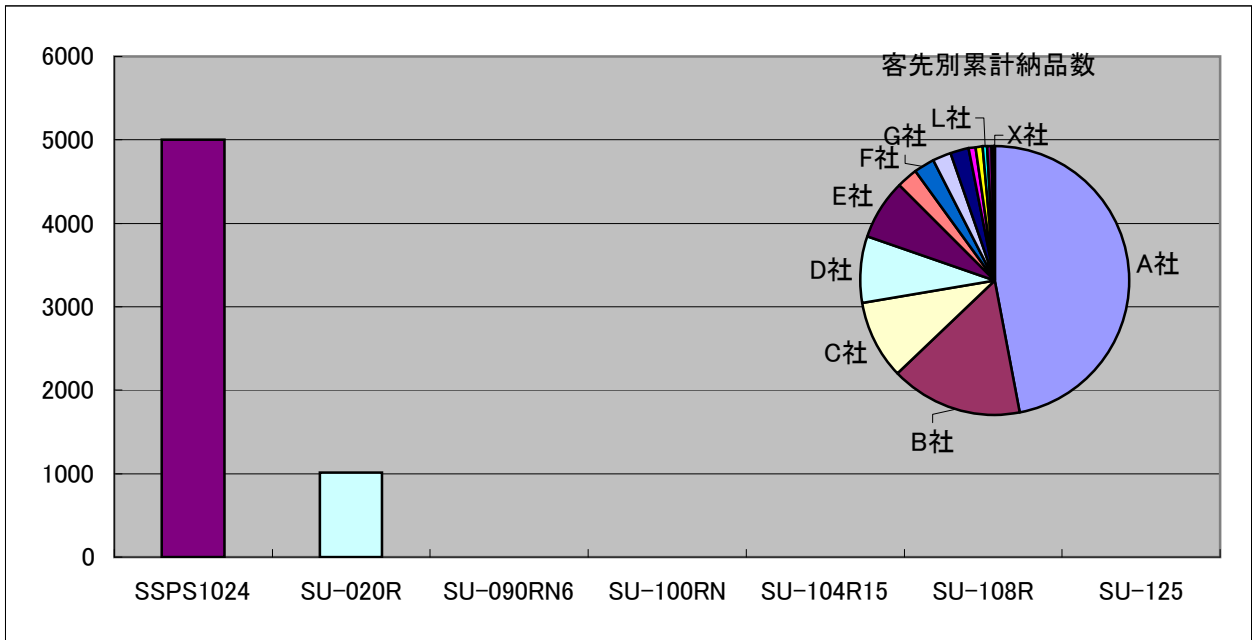
クレーム発生推移

「クレーム」の定義: 当社製品がエンドユーザー様にて使用中に
当社の責任による原因で不具合が発生し、見直し・改修の場合



10月のクレーム不良は0件。
34期のクレーム不良数目標値は2件以下です。
厳しいですが、達成を目指します。

機種別累計不良率



機種別累計不良率です
 SSPS1024(M社) 1件/200台(5000ppm)
 SU-020R(D社) 1件/3,484台(287ppm)